

# 重度障がい児・者コミュニケーション力育成 支援者研修会～サポーター養成を目指しています～

障害が重い人とのコミュニケーションはどのように図ることができるのでしょうか？

重度の障害児(者)のコミュニケーション機器の特徴と有用性、視線入力装置の有効活用など、コミュニケーション機器を使用することによってどの様なQOLの向上に繋がり、どの様な有益性があるのか等の理解を踏まえ、この研修会は、個々の力に応じた内容に編集をすることが可能なソフト、トビーコミュニケーターの編集方法を学ぶ機会にしたいと思います

日時

2016年2月7日(日) 9:30(受付)～17:00 **最終!!**

東京 8.1、北海道 11.21、広島 12.12 終了

場所

京都大学医学研究科人間健康

杉浦地域医療研究センター (定員60名)

(〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53 TEL: 075-751-3901)

参加料: 無料

対象者: 教員、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、看護師、保健師、介護支援専門員、ヘルパー 等

<プログラム>

9:30～受付 **オリエンテーション** 司会 鈴木 真知子

10:00～11:00 (60分) 塩瀬 隆之先生 京都大学総合博物館/京都大学デザイン学ユニット

コミュニケーションデザイン研究から考える「伝えると伝わるのちがい」(講義)

<11:00～11:10 休憩 >

11:10～12:10 (60分) 中村 内彦さん 支援機器でこんなふうの世界が広がる! (講義)

パシフィックサプライ株式会社 事業開発本部 事業推進部 施設・在宅ケア事業グループ

<12:10～13:30 (80分) 昼休憩 & 機器展示 >

13:30～14:00 (30分) 村瀬 晴美さん 看取り経験を通じて支援を考える (家族のお話)

14:00～14:30 (30分) 伊藤 直弥さん 新たな技術によるコミュニケーション 視線入力装置マイトビー紹介

14:30～15:00 (30分) 高松 崇さん 視線入力装置の有用性 NPO 法人支援機器普及促進協会(ATDS)

<15:00～15:10 休憩 >

15:10～16:50 (100分) 伊藤直弥さん トビーコミュニケーター編集方法(実習)株式会社クレアクト営業部長

16:50～17:00 **質疑応答、修了式**

【問い合わせ・申し込み】

株式会社クレアクト ☎03-3442-5401 メール info@creact.co.jp までご連絡ください

申し込み ; メールにてお申し込みください(先着60名)

ウェブサイトから申し込み用紙をダウンロード(ダウンロード先 <http://www.creact.co.jp/>)

主催 京都大学医学研究科 成育看護学分野 鈴木 真知子(教授)

株式会社クレアクト 担当 伊藤 直弥(営業部長)

協力団体 訪問看護ステーションアドナース/訪問介護まごのて洛西

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2014年度(後期) 助成事業